



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9304 URL <https://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大隅 毅

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務部長 (氏名) 星 正俊 TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	49,237	△3.3	3,017	△8.5	3,385	△4.8	2,404	0.0
2020年3月期第3四半期	50,915	4.1	3,297	12.3	3,556	12.3	2,404	36.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,376百万円 (1.6%) 2020年3月期第3四半期 3,323百万円 (1,010.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	158.13	-
2020年3月期第3四半期	158.11	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	99,895	47,082	46.8	3,074.18
2020年3月期	98,994	44,512	44.0	2,861.73

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 46,742百万円 2020年3月期 43,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2021年3月期	-	26.00	-		
2021年3月期 (予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,700	△0.2	3,700	△5.3	4,000	△4.2	2,700	△4.1	177.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	15,217,747株	2020年3月期	15,217,747株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	12,993株	2020年3月期	12,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	15,204,754株	2020年3月期3Q	15,204,811株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。政府や自治体による各種政策の効果や中国をはじめとした海外経済の改善もあり、景気は僅かながら持ち直しの動きがみられました。

このような経済情勢にあつて、物流業界では自動車を中心とした企業の生産や輸出、個人消費は持ち直しの動きが見られるものの、回復のペースは緩やかなものに留まり、荷動きは低調に推移しました。また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率は若干上昇し、賃料相場も僅かながら下落するなど、厳しい状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、物流事業においては、流通加工業務の拡大、消費財の取扱維持に努めるとともに、業務の効率化や費用の削減に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上や安定的な収益基盤の維持に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業は引き続き堅調に推移し、物流事業は新設拠点の稼働に加え、流通加工業務や自動車部品、飲料などの取扱量が増加したことにより、倉庫業務が伸長したほか、航空貨物の取扱い増加があったものの、消費材を中心とした陸上運送業務や港湾運送業務が低調に推移したことにより、前年同期比16億7千7百万円(3.3%)減の492億3千7百万円となり、営業利益は、同2億8千万円(8.5%)減の30億1千7百万円、経常利益は、同1億7千1百万円(4.8%)減の33億8千5百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことにより、前年同期並みの24億4百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、新設拠点の稼働に加え、日用品などの流通加工業務が好調に推移し、自動車部品や飲料の保管、荷役の取扱いが増加したことにより、営業収益は前年同期比8億3千3百万円(7.4%)増の120億5千8百万円となりました。

港湾運送業務は、船内荷役業務、日用品や化学品の輸出入荷捌業務が減少したことにより、営業収益は前年同期比3億5百万円(6.4%)減の44億5千9百万円となりました。

陸上運送業務は、日用品、飲料、非鉄製品などの輸配送業務や、引越業務が減少したことにより、営業収益は前年同期比24億7百万円(9.4%)減の232億2千3百万円となりました。

国際輸送業務は、輸出入海上貨物や香港、ベトナムにおける海外現地法人の取扱いは減少したものの、輸出航空貨物の取扱いが増加したことや航空運賃の高騰により、営業収益は前年同期比1億3千4百万円(4.0%)増の35億4千4百万円となりました。

その他の物流業務は、内航海運業務の終了に伴う減少はあったものの、物流施設賃貸業務が増加したことにより、営業収益は前年同期比6千9百万円(4.5%)増の16億2千3百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比16億7千5百万円(3.6%)減の449億9百万円となりました。営業費用は、取扱い減少に伴う作業費の減少により、前年同期比12億8千5百万円(2.9%)減の428億7千5百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比3億8千9百万円(16.1%)減の20億3千3百万円となりました。

② 不動産事業

一部施設の不動産付帯収入が減少したものの、ビル管理業務の取扱いが増加し、営業収益は前年同期比4千1百万円(0.9%)増の44億6千5百万円となりました。営業費用は、LED化などに伴う光熱動力費は減少したものの、ビル管理業務費が増加し、前年同期比6百万円(0.3%)増の21億4千5百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比3千5百万円(1.5%)増の23億2千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形・無形固定資産の減価償却による減少があったものの、投資有価証券の時価評価の増加等により、前連結会計年度末に比べ9億円増加し、998億9千5百万円となりました。

負債については、設備関係支払手形の減少等により、前連結会計年度末に比べ16億7千万円減少し、528億1千2百万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上およびその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ25億7千万円増加し、470億8千2百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より2.8ポイント増加し、46.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、全体で11億2千6百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、145億5千7百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により46億9千2百万円の増加（前年同四半期比9億7千6百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出および無形固定資産の取得による支出等があったため、26億5千5百万円の減少（前年同四半期比30億7千2百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済や配当金の支払いがあったため、9億3百万円の減少（前年同四半期比24億5千7百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、2020年11月6日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,002	13,627
受取手形及び取引先未収金	12,187	12,189
有価証券	3,500	3,000
その他	2,280	2,125
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	29,961	30,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,902	31,681
土地	17,858	17,858
その他(純額)	1,883	1,861
有形固定資産合計	52,645	51,401
無形固定資産	1,679	1,395
投資その他の資産		
投資有価証券	12,553	13,972
その他	2,143	2,182
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	14,655	16,114
固定資産合計	68,980	68,911
繰延資産	52	43
資産合計	98,994	99,895

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,148	4,952
短期借入金	5,634	10,987
未払法人税等	855	492
引当金	670	325
その他	3,875	2,793
流動負債合計	16,184	19,551
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,717	15,280
長期預り金	4,708	4,714
退職給付に係る負債	2,474	2,428
その他	397	836
固定負債合計	38,297	33,260
負債合計	54,482	52,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,700	6,355
利益剰余金	27,753	29,378
自己株式	△23	△23
株主資本合計	41,277	43,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,747	3,805
為替換算調整勘定	△450	△597
退職給付に係る調整累計額	△62	△24
その他の包括利益累計額合計	2,234	3,184
非支配株主持分	1,000	340
純資産合計	44,512	47,082
負債純資産合計	98,994	99,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	6,203	6,716
倉庫荷役料	5,020	5,341
荷捌料	8,436	8,109
陸上運送料	25,622	23,214
物流施設賃貸料	1,093	1,321
不動産賃貸料	4,340	4,337
その他	198	195
営業収益合計	50,915	49,237
営業原価		
作業費	31,948	30,399
賃借料	2,690	2,799
人件費	2,649	2,702
減価償却費	2,006	2,237
その他	5,679	5,582
営業原価合計	44,973	43,720
営業総利益	5,941	5,516
販売費及び一般管理費	2,644	2,499
営業利益	3,297	3,017
営業外収益		
受取利息	45	40
受取配当金	353	354
持分法による投資利益	29	16
その他	108	117
営業外収益合計	536	529
営業外費用		
支払利息	118	101
その他	159	60
営業外費用合計	277	161
経常利益	3,556	3,385
特別利益		
投資有価証券売却益	—	170
特別利益合計	—	170
税金等調整前四半期純利益	3,556	3,556
法人税等	1,104	1,115
四半期純利益	2,451	2,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,404	2,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,451	2,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	929	1,041
為替換算調整勘定	△63	△111
退職給付に係る調整額	35	37
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△32
その他の包括利益合計	871	935
四半期包括利益	3,323	3,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,288	3,353
非支配株主に係る四半期包括利益	35	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,556	3,556
減価償却費	2,188	2,371
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△45
受取利息及び受取配当金	△398	△395
支払利息	118	101
持分法による投資損益(△は益)	△29	△16
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	△166
固定資産売却損益(△は益)	△7	△1
固定資産除却損	31	4
売上債権の増減額(△は増加)	△858	△5
仕入債務の増減額(△は減少)	△22	△193
その他	45	635
小計	4,616	5,835
利息及び配当金の受取額	392	404
利息の支払額	△132	△115
法人税等の支払額	△1,161	△1,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,716	4,692
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,920	△2,693
定期預金の払戻による収入	1,885	2,636
有形固定資産の取得による支出	△4,715	△2,678
有形固定資産の売却による収入	37	18
無形固定資産の取得による支出	△144	△84
投資有価証券の取得による支出	△903	△14
投資有価証券の売却及び償還による収入	31	212
関係会社出資金の払込による支出	—	△52
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,728	△2,655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	163	23
長期借入れによる収入	7,100	2,700
長期借入金の返済による支出	△9,807	△2,807
配当金の支払額	△730	△775
非支配株主への配当金の支払額	△32	△15
リース債務の返済による支出	△26	△28
その他	△27	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,360	△903
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,379	1,126
現金及び現金同等物の期首残高	13,826	13,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,447	14,557

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症による営業収益等への影響は、現時点においても収束時期が不透明な状況であることから、通期にわたることを前提としておりますが、会計上の見積りに重要な変更はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	46,575	4,340	50,915	—	50,915
セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	84	94	△94	—
計	46,585	4,424	51,009	△94	50,915
セグメント利益	2,423	2,285	4,708	△1,410	3,297

(注1) セグメント利益の調整額△1,410百万円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	44,899	4,337	49,237	—	49,237
セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	127	138	△138	—
計	44,909	4,465	49,375	△138	49,237
セグメント利益	2,033	2,320	4,353	△1,336	3,017

(注1) セグメント利益の調整額△1,336百万円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。